

科目名	公衆栄養学Ⅱ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	船 元 智 子						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	「公衆栄養学Ⅰ」で学んだことをさらに技術的に発展させて、保健・医療・福祉・介護の各分野におけるEBNの考え方を理解し、それぞれの集団特性に対して適切な栄養関連サービスを提供できるプログラムの作成・実施・評価の総合的マネジメントを教授する。						
授業の 到達目標	①公衆栄養活動のPDCAサイクルを説明できる。 ②公衆栄養アセスメントの種類、方法を説明できる。 ③公衆栄養プログラムの目標設定の種類と方法を説明できる。 ④公衆栄養プログラムの計画、実施、評価の手法を説明できる。 ⑤地域特性に対応したプログラムの展開について概説できる。 ⑥食環境づくりのためのプログラムの展開について説明できる。 ⑦ライフステージの特性に応じた公衆栄養プログラムの展開について説明できる。 ⑧集団の栄養アセスメント・評価に必要な栄養疫学の基礎について概説できる。						
学習方法	講義						
テキスト及 び参考書等	テキスト：四訂公衆栄養学（建帛社） 管理栄養士・栄養士必携（第一出版） 栄養調理六法（新日本法規）						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	○	○				80	
小テスト等	○	○				10	
宿題・授業外レポート	○	○	○			10	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第1週	公衆栄養マネジメント						
第2週	公衆栄養アセスメント						
第3週	公衆栄養プログラム計画						
第4週	公衆栄養プログラムの目標設定・実施（社会資源の管理・関係者・機関の役割）						
第5週	公衆栄養プログラムの実施（母子）						
第6週	公衆栄養プログラムの実施（学童期・思春期）						
第7週	公衆栄養プログラムの実施（成人期・生活習慣病ハイリスク集団）						
第8週	公衆栄養プログラムの実施（高齢者）						
第9週	公衆栄養プログラムの実施（食環境）						
第10週	公衆栄養プログラムの実施（特定給食施設）						
第11週	公衆栄養プログラムの評価（評価の種類とデザイン）						
第12週	公衆栄養プログラムの評価（疫学指標）						
第13週	栄養疫学（曝露情報としての食事摂取量の把握①）						
第14週	栄養疫学（曝露情報としての食事摂取量の把握②）						
第15週	総まとめ						
第16週	試験						
備考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						